



刊行図書のご案内



シリーズ名： (財)大阪府文化財センター調査報告書
シリーズ番号： 第201集

書名： **吹田操車場遺跡Ⅳ**

サブタイトル： 吹田(信)基盤整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告

編集・発行： (財)大阪府文化財センター

サイズ： A4判

ページ数： 本文 204頁・巻頭図版 1頁・写真図版 51頁

発行年： 2010年3月

販売価格： **1,543円(税込)**

送料： 宅急便 ※地域別料金(1035g)

吹田操車場遺跡は古墳時代後期～奈良時代にかけての群集土坑や奈良時代～平安時代の掘立柱建物の検出、難波宮跡出土の七尾瓦窯産軒丸瓦や平安宮跡出土の吉志部瓦窯産軒丸瓦、奈良三彩小壺等の出土で有名です。

当調査では9～10世紀(平安時代)に盛行した掘立柱建物で構成される古代の集落や、弥生時代中期後半の土坑、中世以降の耕作地跡等を検出しました。

古代の集落跡からは須恵器、土師器の他、緑釉陶器、灰釉陶器など他地域からもたらされた製品が出土しています。中でも越州窯系青磁碗は中国浙江省等で生産された古代の陶磁器であり、大阪府内では稀有な資料といえます。

今回も七尾瓦窯や吉志部瓦窯の軒丸瓦が見つかった他、白鳳時代の素弁蓮華文軒丸瓦が出土しています。また、古墳時代の陶棺の破片も数点見られました。当遺跡の歴史的意義を考える上で非常に注目される資料を得ることができました。

更に、これまでの調査ではあまり明確ではなかった中世前半の柱穴群がまとまって出土したことは、集落の存在を示唆し、新たな知見を得ることとなりました。

◀刊行物購入のお問合わせ先▶

◀郵便振替の場合▶ 在庫をご確認のうえ、ご注文ください。

郵便振替 00990-0-312112 加入者名：(財)大阪府文化財センター
住所・氏名・電話番号を明記の上、通信欄には、**図書名・冊数・送料**を必ず記入して下さい。
※宅急便も取り扱います。

※まとめて送本する場合は料金が安くなりますので、あらかじめお問い合わせ下さい。

財)大阪府文化財センター 調査グループ 資料活用

〒577-0012 東大阪市長田東1丁目9番16号 TEL 06-6785-4531 FAX 06-6785-5431